

 ヒノコ café

株式会社 Hibana / 京都ペレット町家ヒノコ
ヒノコ café (京都ペレット町家ヒノコ2階)

〒604-0931 京都市中京区寺町通二条下ル榎木町 98-7

TEL : 075-241-6038 / FAX : 075-741-8023

✉ kyoto-pellet@hibana.co.jp

🏠 <http://www.hibana.co.jp/kyoto-pellet>

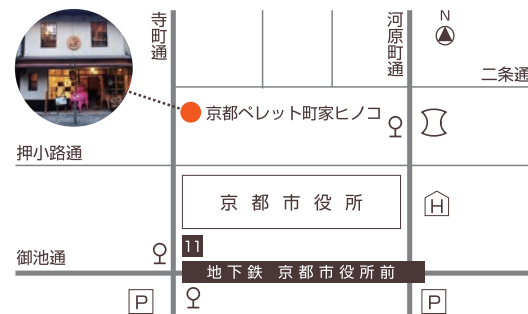
📍 京都ペレット町家ヒノコ

■ 営業時間: 10:00 - 19:00

■ 定休日: 水曜日

■ アクセス

- ・ 地下鉄東西線「京都市役所前」11番出口より徒歩3分
- ・ 市バス「京都市役所前」より徒歩3分
- ・ 京都バス「寺町御池」より徒歩3分
- ・ 最寄りの有料駐車場: 京都市御池地下駐車場



日本の森と

い

ま

の

木地師の器と

9世紀に近江国で惟喬親王が伝授したという木工技術。

それが木地師の始まりです。

森の木は家や家具、器などに使われさまざまな職人や知恵を育みました。

また木は燃料としても欠かせず、まさに日本の森の恵みとともに

人々は生きてきたのです。…そんな話はもう過去のものでしょうか？

「エコな生活」のひとつに「自然と暮らす」という言葉があります。

でも、木の温もりや心地よさは知っているんだけど、木製品を使ったり

街の公園の樹木を眺めては、ちいさな植物を育てるだけで精一杯…。

それが現状なのかも知れません。

日本の森林を元気にするための様々な活動をヒノコは行ってきました。

そして出会った「木地師の器」

一枚の板からひとつひとつ木地師の手により生まれるその美しさと温もり。

モノの溢れる現代だからこそ、受け継がれた技術が生む「いまのモノ」を

広めたいと思いました。木目の違いは木が生きてきた時の違い。

その豊かな時とともにひと味違う「自然と暮らす」を楽しんでみませんか？

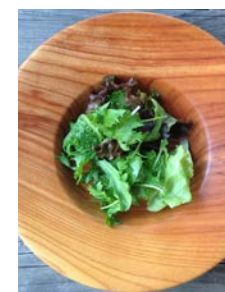
知る

ヒノコではどなたでも参加できる体験イベント「ロクロでつくる木の器」を定期的で開催しております。木地師による説明に始まりお一人ずつ教えを頂きながら実際にロクロで削る体験です。また数回の個人実習により、ひとつの完成品を持ち帰り出来る会も予定しております。尚、器は木本来の美しさを生かす無垢の仕上げとなります。一般の方のロクロ体験はめったにありませんので、ぜひトライしてみてください。



作る

木地師の木の器はレンタルしています。大皿・鉢・和、洋皿タイプ・ドングリ型カップなど様々な形があります。また、表面は漆塗り（透明）・撥水加工済み・無垢（天然のオイルで手入れしつつ器を育てるお楽しみ付き）があります。基本的には食器として、イベントやパーティーなどでお使い下さい。尚、ヒノコCaféはスペースの貸し出しもしています。グリルや七輪など木の火を楽しむための調理器具もレンタルします。詳しくは京都ペレット町家ヒノコのスタッフまたはFacebookなどで。



借りる

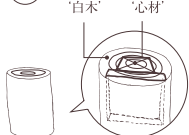
ロクロでつくる木の器って？

①



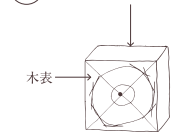
器に適した木はケヤキ・トチなど。柔らかい木は乾燥時の差が大きくあまり適さない。

②



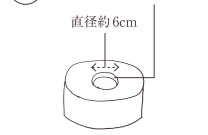
器は「白木」部を使用。「心材」は建材などに使用され丸太一本を無駄なく使う知恵。

③



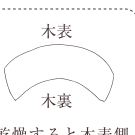
木表に鉛筆とコンパスで形を下書きし、バンドソー（電動のこぎり）で円形に切り落とす。

④



この形で風通しの良いところで5~10年自然乾燥する。

※向きに注意！



乾燥すると木表側に反り割れてしまうので木表側を器の内側にする

⑤



材料をロクロに取り付け鉛筆で印を付ける。

⑥



外側を削ると同時に内側にリングをはめる溝をつくる。（この部分は器の「高円台」となる部分）数種類の大型の彫刻刀のような刃物でロクロを回し器の形に削る。

⑦



ひっくり返して同様に好みの形に削る（薄すぎると割れてしまうので注意）紙ヤスリの粗さを替えながら仕上げ、最後は秘伝の薬で光沢を出す。

⑧



完成！表面加工する場合は漆などを塗り乾燥させる。